

2024年会長年頭挨拶

日本フットケア技術協会(JAFTA)会長 河合 修三



新しい年が幕を開けました。まず最初に、令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な生活に戻りますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ感染症が5類に移行しポストコロナへの転換点でした。当会といたしましても様々なセミナーや企画で、高品質なフットケア技術の普及と向上に取り組んでまいりました。皆さまのご協力とご支援に心より感謝申し上げます。

迎えた2024年は、これまで以上にフットケア技術の発展と普及が求められていくと感じます。今般の地震などの災害

で、改めて我々に何ができるのかを考えた時、足元の健康が全身の健康に大きな影響を与えることを理解し、その重要性を広く社会に伝えることもその一つではないでしょうか。

フットケアは決して単なる美容や快適さだけでなく、生活の質を向上させ、健康をサポートする不可欠な要素です。

当会では、会員の皆様による熱意と専門知識を活かし、本年も様々な企画を展開していく他、地域社会との連携を強化し、フットケアに関する正確な情報が広く浸透するよう努めてまいります。そして、メーカーと協力しながら新たな技術やトレンドにも柔軟に対応し、会員の皆様が常に最新の情報を得られるよう努めてまいります。共に力を合わせ、フットケア技術の更なる進化と社会への貢献を果たしていけるよう、より良い未来に向けて歩んでまいりましょう。新しい年が皆様にとって、ますます充実したものとなりますよう心より祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。